

日本子ども家庭福祉学会通信

第35号

2017年3月発行

Japanese Society of Child and Family Welfare

No.35

第18回 日本子ども家庭福祉学会 全国大会開催のお知らせ

テーマ：児童福祉法制定70年のあゆみ
—過去から学び、未来につなぐ—

大会長 遠藤 和佳子 事務局長 一村 小百合
(関西福祉科学大学)

1947(昭和22)年、戦後の混乱期のなかで児童福祉法が成立してから今年で70年を迎えます児童福祉法は、「すべての子ども」を対象にし、保護だけでなくその健全な育成を推し進めてきました。

2016年の児童福祉法改正により、理念に「児童の権利に関する条約」の精神を尊重することが明記され、子どもを「権利の主体」と位置づけ直されました。

これからの子ども家庭福祉においては、子どもと家庭のウェルビーイングを図っていくことが非常に重要となります。子どもや家庭を自己の可能性をきりひらく「主体」として明確に位置づけたうえで、自立できるよう支援することが、子ども家庭福祉において実践されていかななくてはなりません。子どもやその家族が、みずからを取り巻く問題に目を向け、自己をとりまく環境を変え得るストレンクス(力)を引き出せるように社会全体で支え、エンパワーしていくことが一層求められているのです。これらのことが、子ども家庭福祉施策においてこれまで以上に実現されていけばと思います。

こうした問題意識のもと、大会1日目は「児童福祉法改正とこれからの子ども家庭福祉」と題する基調講演を予定しています。子どもとその家族が「権利の主体」として明確に位置づけられることが、子ども家庭福祉の在り方において非常に重要な意味をもつということに思いをめぐらしていきたいと思っています。この基調講演をふまえ、「子ども家庭福祉の未来を見据えて—その理論と実践—」というテーマでシンポジウムを開催します。このシンポジウムでは、子ども家庭福祉の様々な分野で活躍してきた研究者から、これまでの経緯を踏まえた提言をいただき、次代を担う実践者から子ども家庭福祉の未来について語ってほしいと考えています。

大会第2日目は、例年通り、各分科会における自由研究発表を行います。子ども家庭福祉の新たな知見を議論し合い、切磋琢磨し合い、研究者・実践者の交流をはかっていく機会としていただけるよう、たくさんの方々の発表の応募を心待ちにしております。

子ども家庭福祉に携わる研究者や現場の方々が、子どもやその家族の笑顔を目指し、子ども家庭福祉の未来を考えていく新たな出会いの場となることを期待しております。会員の皆様のご参加、ご報告を心よりお待ちしております。

日程：2017(平成29)年6月3日(土)、4日(日)
会場：関西福祉科学大学(大阪府柏原市旭ヶ丘3-11-1)
問い合わせ先：kodomokatei2017@tamateyama.ac.jp
Fax：072-978-0603(関西福祉科学大学・一村小百合研究室)

第1日目 6月3日(土)

12:00- 受付開始

13:00-13:30 総会

13:50-14:10 開会

14:10-15:40 基調講演(公開)

テーマ：『児童福祉法改正とこれからの子ども家庭福祉』—新制度の到達点と課題—
山縣文治(関西大学教授)

15:45-17:45 シンポジウム(公開)

テーマ：『子ども家庭福祉の未来を見据えて—その理論と実践』

シンポジウムでは、子ども家庭福祉・児童相談所・児童養護施設の各分野において、長年実践・研究されてきた論者からこれまでの経緯を踏まえた提言をいただき、それに応えて次代を担う実践者から、これからの子ども家庭福祉について語っていただきたいと考えています。

コーディネーター：遠藤 洋二(関西福祉科学大学教授)

パネリスト：「子ども家庭福祉の観点から」

倉石 哲也(武庫川女子大学大学院教授)

丸谷 美紀(宝塚市子育て支援課家庭相談員)

「児童相談所の観点から」

前橋 信和(関西学院大学教授)

永井 友基(神戸市こども家庭センター児童福祉司)

「社会的養護の観点から」

農野 寛治(大阪大谷大学教授)

西岡 加奈(児童養護施設羽曳野荘里親支援専門相談員)

18:00-19:30 懇親会

第2日目 6月4日(日)

8:40- 受付

9:00-12:00 分科会「自由研究発表」

12:00-13:00 休憩

13:00-16:00 分科会「自由研究発表」

参加費

	大会参加費		懇親会費	
	事前入金 (5/8まで)	当日 支払い	事前入金 (5/8まで)	当日 支払い
会員	3,000円	5,000円	5,000円	5,000円
非会員	----	6,000円	-----	5,000円
大学院生	----	2,000円	-----	5,000円
学部生	無料(学生証提示)		-----	3,000円

※基調講演・シンポジウムのみ的一般参加については、当日1,000円で受付します。

大会参加申し込みや振込先等の詳しい情報は、ホームページでご確認ください。

平成28年度 第2回 理事会報告

平成27年12月6日(日)、平成27年度第2回理事会が立正大学にて開催されました。議題と決定の内容は以下の通りです。

場 所：立正大学(品川キャンパス)

日 時：2016年10月1日(土) 10:00～11:30

出席者(敬称略)：網野武博、大竹智、金子恵美、小林理、武藤素明、栗原直樹、前橋信和、山本真実

欠席者(敬称略)：川崎二三彦、増田まゆみ、西郷泰之、山本恒夫

1. 審議事項

- (1) 入会審査が行われ、審査件数9件が承認された。(うち1名、海外在住の申し込み者の申請書に、研究テーマの記載がなかったため、メールで連絡して確認することとなった。後日、確認済)
- (2) 会長・理事の改選時期にあたるため、選挙管理委員会の設置について、下記の内容について審議され、決定した。

投票用紙発送：平成29年1月10日頃

投票締切：平成29年2月15日

名簿作成日：平成28年12月15日現在

(投票締切2か月前)

選挙権及び被選挙権については、当該選挙の直近の理事会で承認された者を対象とすることとなった。また、被選挙権対象者については、二期連続で理事を務めた者及び三期務めた者を除くことが確認された。

(3) 理事会開催日程及び入会審査日程について

理事会はこれまで全国大会開催（6月）及び日本社会福祉学会全国大会の開催日に行っていたが、近年、日本社会福祉学会の全国大会の開催が9月となっていること、さらに開催校会議室の確保が困難になってきたことから、本学会として独自の理事会日程を検討することが求められていることから検討を行い、理事会は全国大会開催（6月）と11月末～12月などに2回目を開催するという事になった。

また、入会審査は、理事会開催の2回の他、例年6月開催の全国大会での発表条件（会員であること、申込締め切りが4月末）から勘案し、4月10日をメールでの最終審査を行うことに決定した。また、大会開催校は、毎回、新入会員発表者の会費納入のチェックを行い、会費納入していない場合は発表できないということを開催要項に記載して徹底していくことが確認された。

(4) 平成29年度特別企画・研修企画について（学会活性化に向けた取組の検討）

平成29年度の特別企画については、新体制での検討することとなった。

また、学会活性化の取り組みとして、下記のような意見が出された。

- ・特別企画の他、他講演会・シンポジウムの後援を積極的に行う。
- ・機関誌では、特集を組んで原稿を募集する。
- ・若年研究者向け研修会、現場実践者向け研修会の実施
- ・他（多）職種との連携を目指した学会共同企画など
- ・地域ブロックごとの研究会とのタイアップ

2. 報告事項

(1) 平成29年度 第18回全国大会

開催校：関西福祉科学大学

テーマ：「児童福祉法制定70年のあゆみ～過去から学び、未来につなぐ～」

基調講演：関西大学 教授 山縣文治先生

(2) 平成29年度 総会及び第1回理事会の日程

平成29(2017)年6月3日(土) 関西福祉科学大学

(3) 編集委員会報告（学会紀要の編集状況）

11月発行の第16号の編集集中。投稿21本、審査繰越1本を査読審査し、6本の論文を掲載予定。査読委員の更新手続きに入る予定とのこと。

入 退 会 者

2016年11月1日～2017年2月28日までの新入会員

栗田 美砂	四日市市役所
江川 可愛	四日市市役所こども未来部こども保健福祉課家庭児童相談室
板倉 香子	洗足こども短期大学
土田 珠紀	西南学院早緑子供の園・西南学院大学大学院
陳 君萃	龍谷大学

2016年11月1日～2017年2月28日までの退会者

加藤 健志
三浦 崇志
細田 由起子

〈編集後記〉

○2月17日に選挙管理委員会が開催され、開票作業が行われました。

今後の手続きとしては、次の総会（6月）に諮り、承認されたのち、新執行部体制となります。

○2017年3月2日、会員の大阪市立大学生生活科学研究科岩間伸之教授が急逝されました。

お若いながら、多くのソーシャルワーク研究の実績を残され、本学会の立ち上げ時からご協力を頂いていた先生のあまりにも早すぎる訃報に悲しみは絶えません。

先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

日本子ども家庭福祉学会通信 第35号

発行日 2017年3月24日
 発行人 網野 武博
 編集人 山本 真実
 発行 日本子ども家庭福祉学会事務局
 〒162-0801
 東京都新宿区山吹町358-5
 アカデミーセンター (株) 国際文献社
 Tel: 03-5937-5716 Fax: 03-3368-2822
 e-mail jscfw-post@bunken.co.jp